



2013 自治労 Vol.18

つべつ

2013.2.28(木)

発行:自治労津別町役場職員組合 教育宣伝部

ラスは国と地方の公務員の 給与差を示す指数ではない

ラスパイレス指数に関する問題点<総論>

- ・ラスパイレス指数は、国と地方の給与水準を示すものとして、間違った形で浸透しています。
- ・ラスパイレス指数は、地方公務員の給与額を、学歴、経験年数区分ごとに、国公行政職（一）表適用の国家公務員の給与額を100として比較した場合に算出されるものとされています。
- ・しかしながら給与比較として見た場合、以下のような問題点があります。
 1. 手当等は含まれず、基本給のみが対象 ~ 給与総額を比較するものではない
 2. 俸給の高い職員は比較対象としてはいない
 3. 小規模自治体では、年齢構成により変動が大きい

給与総額（支給額）を比較するものではない

- ・2012 国家公務員給与実態調査（2012 人勤における官民比較に使用）によると、基本給（俸給の月額）は比較給与項目対比で82.1%、所定内給与比で79.2%に過ぎません。
- ・一方、国家公務員にしか支給されない、本府省業務手当や広域移動手当（1.5%）、また地方では支給が少ない地域手当（8.6%）などは比較対象とされていないため、給与総額比較と比べると地方の数字が高く示されるものとなっています。
- ・また、2004年の同調査を見ると、基本給（俸給月額）の所定内給与比（現在所定外とされている通勤手当は除く）は88.7%となっています。給与構造改革により基本給を引き下げ、手当に配分した結果、ラスパイレス指数は大きく変動しないものの、比較対象外かつ地方の支給割合の少ない「手当」の割合が増加していることとなります。
- ・その結果として、給与「制度」の国準拠により、地方給与のみが引き下げられる形となっています。

国の俸給の高い職員は比較対象としていない

- ・国公行政職（一）表適用者のみの比較のため、本省課長までが比較対象であり、より俸給の高い指定職俸給表適用者については比較対象外となっています。つまり、行政職全体で比較しているわけではありません。これも、地方の指数が上がる要因のひとつとなっています。
- ・一方、採用区分が総合職（旧I種）採用者も行（一）在級中は比較対象となるため、大卒区分の指数は比較的低位に出る傾向があります。

小規模自治体では、年齢構成により変動が大きい

- ・採用後 10 年未満は、1～3 年刻み、以降は 5 年刻みで比較するため、各区分ごとの平均を算出して比較することとなります。しかし、特に職員数の少ない自治体においては、各区分での偏りにより、指数が大きく変動する傾向があります。
- ・また、採用後の経験年数による比較のため、採用前の前歴が多いほど指数は高くなります。

【公務員連絡会地方公務員部会作成の資料より】

交付税は地方固有の財源

地方自治否定の愚策に効す③

福井県の西川知事は 25 日の会見で、政府が地方交付税を減額し、地方公務員の給与引き下げを要請していることに対し、「一方的に削減するのは極めて遺憾。地方交付税は地方固有の財源で、政策目的で使われるのは本筋ではない」と批判しました。

また、大分県市長会の釘宮会長（大分市長）は 27 日の会見で、「今回公表されたラスパレス指数は、2 年間臨時的に減額されている国家公務員との比較で、瞬間的な数値。中長期の公務員給与・定数の在り方について、早急に国と地方の協議の場で議論を開始し、実行ある運営を図るべきだ」と批判しました。

また、「地方の財政自主権を侵す」とし、「デフレ下で民間給与の引き上げを要請している政府の姿勢と矛盾する」ことを理由に、「地方の意見を十分反映するよう強く要請する」と主張し、大分市の対応については、「どうするかは今後考えていきたい」と述べるにとどめました。 【官庁速報より】

春闘期の日程

- 3 /
- 1 (金) 第 2 回臨時議会
 - 4 (月) 議会総務文教常任委員会
 - 5 (火) 議会産業福祉常任委員会
 - 6 (水) 統一要求書回答指定日
 - 7 (木) 基本・現評・青婦部合同執行委員会 (学習会)
 - 7 (木) ～ 14 (木) 重点交渉期間
 - 8 (金) ～ 12 (火) 第 1 回支会別討論会
 - 9 (土) 地方本部単組総支部代表者会議 2013 春季生活闘争勝利！網走管内総決起集会 北見市
 - 12 (火) ～ 22 (金) 第 3 回定例議会
 - 13 (木) 時間外職場集会
 - 14 (金) 全国統一行動 29 分スト
 - 14 (金) スト終了まで超勤・出張拒否
 - 27 (水) 公務員連絡会第 2 次全国統一行動 (政府・人事院回答翌日)

参議院
議員

あいはらくみこ

自治労の代表を通じて政策実現を！

公共サービスの再生と組合員・関連労働者の生活改善を実現するためには、自治労を代表する国会議員が必要です。私たちの要求する諸政策の前進のため「あいはらくみこ」さんの活動を支援していきましょう。



町職は第 50 回定期大会で 7 月の参議院選挙・比例区で「あいはらくみこ」さんを推薦決定しています。